

会 議 録

内容承認	公開・非	＜開催日＞令和7年 10月3日（金）	＜傍聴人数＞1名
新川会長	公開の別	＜時 間＞14：30～16：30	＜傍聴室＞
承認	公開	＜場 所＞岸和田市役所 新館4階 第1委員会室	岸和田市役所新館4階 議会会議室

＜名称＞ 令和7年度第1回 岸和田市総合計画審議会

＜出席者＞委員 18名中 16名 ○は出席、■は欠席

新川	久	新井	齊藤	笠松	中川	奥田	沖藤	上月
○	○	○	○	○	○	○	○	○
浦田	太田	池田	山田	土井	鳥居	後藤	野路	赤塚
○	○	○	■	■	○	○	○	○

事務局）総合政策部：西川部長

企画課：田中課長、中井主幹、高井主幹、吉本

＜議題＞

- 1 開会
- 2 委員委嘱
- 3 委員自己紹介
- 4 正・副会長の選出
- 5 将来ビジョン・岸和田について
- 6 今後の審議内容とスケジュールについて
- 7 その他
- 8 閉会

＜会議内容＞

■市長から、各委員に委嘱状交付。市長から委員へ挨拶。

■委員自己紹介の後、正・副会長の選出。

会長に新川委員を推薦⇒ 承認

副会長に久委員を推薦⇒ 承認

■議題5、6について事務局から説明

■意見・質疑

【委員】

それぞれの個別目標の方向性に「指標 A」は主観的な内容、「指標 B」は客観的な内容として具体的な数値が示されていると理解したが、どちらに振り分けるべきか判断に迷う部分や、指標 A のみ記載されている方向性あるいは指標 A・B に加えて、指標 C・D の記載がある方向性もあるため、この辺りについて、教えていただきたい。また、指標の下に記載されている SDGs は、どのような視点で含めているのか、SDGs を組み込んだ理由についても具体的に知りたい。

【事務局】

「指標 A は主観的」や「指標 B は客観的」というものではなく、それぞれの方向性に対して、指標の数だけ A・B・C と順に設定している。また、関連する SDGs 目標について、第1期基

本計画策定時に取組の内容から適当と判断されたものを、審議会でも議論したうえで設定したものではあるが、今後の議論の中で、より適当なものがあれば、修正していくことになる。

【会長】

現在の計画を策定した際に、本市でも国連が定めた SDGs の目標を位置づける方針とした。その背景には、日本国政府が SDGs を基に行動を進めており、本市においても、4 年前の計画策定段階で議論され、この計画に SDGs を明確に位置づけるべく対応表を作成し、第 1 期基本計画の 130 ページ以降に、SDGs の各項目に対応する本市の目標や施策を記載している。

【委員】

今回は、第 1 期基本計画の進捗状況を踏まえ、第 2 期基本計画を策定するということで、次回以降の会議において、個別目標の方向性や指標について議論する予定であるが、2 年前からの進捗や昨年度・今年度の評価資料の共有は可能か。

【事務局】

お示しできる範囲で直近の値などは示したいと考えている。

【会長】

第 1 期の取組状況は第 2 期基本計画の策定に向け重要な参考資料となるため、事務局には可能な限り資料を準備するようお願いしたい。来年度まで議論が続く予定であるため、これまでの成果をできるだけ客観的に示していただきたい。各委員には、必要な資料データが事務局から提出されることを前提として議論を進めていただきたい。

【委員】

現在、市長がタウンミーティングを実施されていると思うが、これはもう終わったのか。

【事務局】

タウンミーティングについて、市長が岸和田市にある小学校の校区の単位で回っており、あと 1 箇所残っている状況。地元の方から「山手の祭りが済んでからにしてほしい」というリクエストがあったものである。

【委員】

各学校区での意見が、第 1 期基本計画に記載のある「現状と課題」として、今後検討する課題にもなるのではないか。こういったものも開示していただけるとありがたい。

【事務局】

関係課に確認し、お示しできるものはお示しする。

【委員】

今後の会議資料について、膨大になるのであれば、今後の議論のためにも可能な範囲で早めに提供していただきたい。

【会長】

事務局では、少なくとも1週間前までには資料等の調整をお願いしたい。

【副会長】

資料4に議論する内容が示されているが、「現状と課題」の項目が唯一抜けている。庁内で議論し必要に応じて修正を加える予定であるとの説明があったが、本来は「現状と課題」を基盤とし、それに基づいて次の4年間の方針を議論する必要があると考える。多様な分野で活躍するメンバーが集まっていることを踏まえ、それぞれの視点からこの4年間の「現状と課題」がどのように変化しているのかを議論するべきではないか。その内容に基づいて「みんなでめざそう値」や「公民の役割」、さらには方向性について議論する意義がある。本来、この4年間で解決できた課題や積み残しとなっている課題を明確にすることが必要であり、さらに次の4年間で発生し得る新たな課題についても考慮するべきである。このようにPDCAサイクルを進める上で、庁内で議論された「現状と課題」の内容について共有していただきたい。また各分野での気づきについての意見交換の場を設けていただきたい。

特に、AIの進化については重要視すべきである。4年前に想定していた以上の進化があり、現状の基本構想や基本計画は「道具として利用する」「デジタルデバイドの課題」といった範囲にとどまっている。次の4年間で対応できないとしてもスピード感をもって、社会全体や働き方全体を変えていく具体的な準備を進めるべき段階であると感じている。特にAIや地球温暖化に関する問題は、緊迫感を持って基本構想を再検討し、社会の急激な変化に対応する必要があるので、ぜひ検討を進めていただきたい。

次の4年間はSDGsの目標年度である2030年と完全に重なるうえ、SDGs達成に向けた最後の4年間であり、具体的な成果を出すことが求められる重要な時期である。市役所内を含め、緊迫感を持って計画の進捗状況を確認しながら取組を進めていく必要があるのではないかな。

【会長】

副会長から基本構想と基本計画の「現状と課題」、さらにSDGsの目標に関連して、今回の計画を見直す際の重要な視点について意見があった。特にDX(デジタルトランスフォーメーション)やGX(グリーントランスフォーメーション)の急速な変化や危機的状況を踏まえ、計画の内容をしっかりと見直すべきとの意見は今後の検討内容にも大きく関わるため、事務局で整理を行い、次回までに方向性を改めて検討する必要がある。

【委員】

今後、指標をお示しいただき、達成状況を確認する際、データを活用した指標は視覚的に分かりやすいが、達成の有無だけに焦点を当てると、その後の具体的な改善策が見えづらくなる懸念がある。達成できなかったと評価したものの要因として、指標のハードルが高すぎた可能性や、想定外の問題の発生、計画策定時の不備などが考えられる。それを踏まえ、指標の達成状況とともに、担当部局から「ハードルが高かった」など忌憚のない率直なコメントを記載していただければ、改善策を見つけやすい場合もあるので、ぜひ対応をお願いしたい。

【委員】

スケジュールについて、2、3回目の具体的な日程が決まるのはいつか。

【事務局】

この会議のタイミングでと想定している。この後、第2回の日程調整をしていただく予定。

【委員】

そもそも、この「将来ビジョン・岸和田」の基本計画はどのように広報され、どの程度認知されているのか。そして、それが市民へどれほど浸透し、具体的な取組につながっているのか。さらに、私自身の経験から感じるのは、日々忙しい業務の中で、このビジョンを頭に入れて業務を遂行している職員がどれだけいるのか。具体例として、職員研修などが実施されているのか、その内容を教えていただきたい。

【事務局】

庁内においては、新規採用職員全員に冊子を配布し研修を行っているため、全員が一定程度認知しているものと認識している。市民に対しては、ホームページで公表し周知を図っているが、認知度に関する調査は実施していないため、実際の認知度は把握できていない。

【委員】

具体的な数字を知りたいわけではないが、今後、第2期基本計画を策定する中で認知度が高いほど、各指標の達成につながると思うので、積極的な周知活動を進めていただきたい。

【会長】

来年予定しているアンケート調査において、総合計画の認知度や目標設定について市民の評価を含めるのか、この点についても事務局で議論をお願いしたい。

【委員】

第1期基本計画の102ページには、「みんなでめざそう値」として「ペーパーレス会議の開催件数」を0件から48件に増やす目標が記載されている。委員から資料を早急に送付してほしいとの要望があったが、会議資料を事前にメールで配布し、当日は必要に応じて資料を準備するのはどうか。岸和田市で最も重要な会議である総合計画審議会を起点として、その他の計画の会議が総合計画審議会を模範とするような流れが生まれるとよい。実現が困難な場合、その原因を明らかにすることで課題が見えることもある。次回以降すぐにどうこうという話ではないが、検討をお願いしたい。

【会長】

具体的な対応については、事務局にもお考えがあると思うので、次回まで検討いただきたい。

【委員】

団体として市長と懇談会をしたときに、市長も「これからはペーパーレスだ」と述べられていた。ペーパーレス会議の必要性は理解しているが、全員が対応するのは非常に困難であると考ええる。広報きしわだに関してもホームページで確認できるが、紙媒体で提供される方が便利だ

と感ずることもある。ペーパーレスを実現できれば非常によいことであるが、若い世代であってもペーパーレスに対応できない人がいる現状では、かなり難しい課題である。

また、私は民生委員・児童委員の主任児童委員を務めている。「子育てしやすい」と基本計画にも記載されており、市民意識調査の項目に挙げられている数値が30%~40%程度であり、個人的には低いと感じた。高石市より南エリアである泉州ブロックの代表者会議に参加しても「岸和田は非常に進んでいる」「子育てしやすいまち岸和田だ」との意見を聞くし、私が岸和田に引っ越してきた頃も実感し、周囲も同様に評価していた。しかし、最近では「本当にそうなのか」と疑問に思うので、今後の指標や調査において、これらの点を改めて確認していきたい。

【委員】

私はこの審議会に出席する前、岸和田市の環境や景観のさまざまな審議会や総合教育会議の傍聴に行ったが、ペーパーレス会議にはなっていなかった。総合教育会議の中で、市内すべての小学生がタブレットを持って勉強していると聞いたにも関わらず、岸和田市の最も重要な会議である審議会がこのような状況なのかと思った。もちろん、参加者の同意が必要だとは思いますが、出来ればこの審議会が率先して引っ張っていく気持ちで取り組みたい。

【会長】

当審議会の議論をよりスムーズに進めるためのペーパーレス化について、事務局でも各委員の意向も踏まえ、検討いただきたい。そうは言っても、この部屋にタブレットを人数分用意し、ネットワークに接続して、委員のみなさまに資料を共有しながら、会議を進行するとなれば、それなりの設備、備品が必要になるので、にわかには難しいかもしれないが、この辺りも含めて検討いただきたい。みなさまにも事務局の検討をお待ちいただきたい。

【副会長】

私が関わっている他市はほとんどペーパーレスになっている。既にタブレットを委員分用意しており、Wi-Fiを利用し、資料提示もタブレット上で行い、事務局が説明している資料を共有してくれる。岸和田市がそのように進んでいくことを期待しており、そのための担当もあると思っている。ただ予算も必要なので、この1年間でどこまでできるかわからないが、少しずつでもできることから始めてほしい。

大阪市の審議会では、先ほど委員がおっしゃったように紙資料を希望する方もおられるので、紙資料が必要かどうかを事前に確認し、必要な方のみ紙資料を事前に郵送している。電子資料を希望する方についてはタブレット、あるいはノートパソコンを持参できるかを確認し、持参できる人は自分の端末を使用する。持参できない人に対しては、市が端末を用意する。資料を自分の端末で見る人、貸し出された端末で見る人、それから紙で見る人の3段階構えになっている。工夫次第でいろいろな対応が可能かと思ったので、事務局の方で検討いただきたい。

【会長】

先ほど子育てについてもご意見をいただいたが、これは今後の会議で、それぞれの施策の中身をみんなで議論できればと思う。

【委員】

基本計画の102ページ、「適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める」という個別目標の方向性が示されていて、その中の取組としてペーパーレスがあり、その上に、さらに個別目標として「持続可能で信頼される行政になっている」と、そのさらに上に基本目標があると思うが、例えばすべてペーパーレスになったときに、それが果たして持続可能で信頼される行政になっているのかは疑問である。当然そうならいけばよいが、そうではないと思う人がいるのであれば、指標の設定についても見直す必要がある。今回、評価として指標の結果も出てくると思うので、その指標が達成されることで、その上の個別目標、基本目標の達成に近づいているかという視点は必要だと感じた。

【会長】

ご指摘のとおり、政策の目標を達成していくことが重要であり、それを端的に表すものとして指標を設定しているが、本当にめざしているものと合致しているかどうかについては、当然しっかり議論する必要がある。本当にその施策の目標が達成できたとしても、その指標が適切かどうかというのは改めて議論しないといけない。指標の達成具合、施策それぞれの実施の状況をご報告いただき、指標そのものが適切かどうかについても当然この審議会で今後ご検討いただく。またその議論に必要な情報を事務局でご用意いただきたい。

【委員】

我々の団体も市と懇談会をやっているが、先ほどのペーパーレスの問題もあるように、多様性がキーワードとしてある。多様性で考えると、やはり現状の中では、電子機器を使えるかどうか、例えば点字が必要な方もいるし、聴覚障害の場合は一定資料を見ることはできるが、音源を聞くなど難しいこともある。いろいろな視点で考えると、やはり選べるのが現状の到達点だと思うので、柔軟に考えることが正しいのではないかと。懇談会に参加すると、それぞれの到達点は、我々の認識が全く違ったりする部分もあり、議論としての時間はかかると思っている。そのあたりはいろいろな資料を合わせて確認していかないと、この6回の審議会では少し厳しいと思う。前回策定時には懇話会を月2回、計40回程度の議論を重ねてこの基本構想と基本計画ができたという経過もある。今回は、この審議会のみという非常に短い時間で検証しないといけない。我々の議論を補完するような工夫が要るのではないかと。

【会長】

1つはユビキタス、あるいはユニバーサルサービスの観点で多様な必要性に応えられるような審議の進め方について、それから、計画の中身にもそういう視点が必要ではないかとご意見をいただいた。それも含め、今のところ、6回の会議で次の4年間の計画を策定しようと目論んでいるが、果たしてこれで十分なのか。やってみないとわからないところはあると思うが、実際にやりながら、必要があればまた改めてご相談していくことになる。ここは事務局にも今後の進捗に応じて、また私どもの議論の進め方に応じて、またご相談したい。

なお、今後の審議の中でいろいろな情報を補完していくことが必要なものについては、また改めて事務局にいろいろお願いしたいと思うので、このあたりも今後の議論の中でぜひ各委員から、ご意見を積極的にいただきたい。また、そのご意見に応じて事務局の方でも庁内を含めて、情報の収集・整理、提供をしていただきたい。なかなか大変な作業であることは重々承知しており、間違いのないところだが、まずは、この枠組みで進めて、その中で不足分をみなさま

と相談しながら進めていきたい。

【委員】

自治基本条例を策定した頃にワーキンググループに入られた方から、「何回も何回もやったよ」と聞いている。おっしゃられたように IT や AI 機能がすごく進んでいるので、我々も置いてきぼりではいけない。ワーキンググループも1つの手段であり、活かす場面があるのではないか。

【会長】

場合によってはワーキンググループの設置も必要に応じて検討する。

【委員】

今回、個別目標の達成について指標を確認するが、個別目標を全部達成したとしても、基本理念が達成できなければ、意味がないのではないか。基本理念である「笑顔にあふれ、誰もが幸せを感じる都市」の実現について、市民意識調査の項目の中に「幸せを感じているのか」を、聞き、ある程度基本理念が達成できているかを確認された方がよいと思う。もちろん専門的視点では、個別の声が寄与しているかどうか確認できればよいが、一旦基本理念についての達成状況はどの程度かを把握したほうがよい。

【会長】

今後、市民意識調査やその他さまざまなデータを収集する予定だが、その際、特に基本的なビジョンや目標が達成できているかの視点でのデータや資料の収集、アンケートの設問等も検討していただきたい。幸福度の指標については、世界的に広く採用されているものであり、参考にしていきたい。

【副会長】

先ほど DX で進んでいる他市の状況について述べたが、岸和田が進んでいる分野があるのに事務局はうまく PR 出来ていないと思う。ダイバーシティ・インクルージョンに関する話があったが、岸和田市の基本計画の右下には2次元 QR コードがついている。これはユニボイスと呼ばれるもので、アプリで読み取ることで音声に変換され、視覚障害の方も読めるようになっており、バーコードの位置がわかるように、対応箇所に穴を開けている。このような取組は広く共有すべきである。さらには、総合計画を視覚障害の方にも、同じ条件で提供しているのは、私が知る限り岸和田市だけである。このような点は積極的に PR し、さらにインクルージョンの観点で、抜けがないかについても全員でチェックしながら進めていくべきである。

【会長】

事務局はしっかりと岸和田市のよいところを PR し、それでも、ダイバーシティやユニバーサルサービスの観点で不足している点は、全員で議論を深めていきたいと思っている。

それでは、さまざまな貴重なご意見をいただいたが、以下のとおり整理する。

今後の審議にあたり、現在進行中の計画の実績あるいはその評価をできるだけ丁寧に提供していただき、今後の審議の参考にしたい。その際に、ビジョンの大きな目標、そしてそれぞれの個別目標の達成について、私たちが把握できるようなデータの集め方をお願いしたい。また、

今後の審議では、かなり深い内容に関わって議論をすることが必要になってくるので、現在の6回の体制で十分かどうか。また、ワーキンググループのようなものを設置してはどうか、ここは、今後の進行の具合、また、事務局とも相談しながら、委員のみなさまと一緒に考えて、より効果的な進め方を改めて検討したい。まずは、できるだけ早い段階で審議資料を用意していただく。また、ペーパーレスについても、会議そのものを効果的、効率的に進めていく上では重要になるかもしれないので、ご検討をいただきたい。

今、DX、GXと非常に大きな社会の変化があり、世界情勢や経済情勢も大きく動く可能性が出ている状況にある。そうした要素や市が置かれている環境を考えたときに、基本構想はそのままでのよいのか。あるいは、基本計画の現状認識について、これでよいのか。この辺りについては改めて事務局でもご検討いただき、我々もそうした観点で、計画の見直しの段階で考えるべき点については、ぜひ本審議会の委員のみなさまからもご意見をいただきたい。

なお、こうした世界情勢の変化、DXやGXに関わるような変化、加えてSDGsについては2030年が目標で、国連で見直しなど議論が始まっているが、日本国でそして、本市で目標の一環として言及しているので、達成に向けて意識しながら、次の計画を考えていくことになる。この辺りも、次の基本計画の策定に向けてのご審議の中で、改めて意識していただきたい。SDGsについて、本市においてもしっかり取り組んでいることを示していきたい。

なお、実際にこの審議を進めるにあたり、様々なデータ収集や調査等を実施いただくが、その際にやはり本計画の趣旨、目的も踏まえた情報の集め方がどうしても必要になる。こうした計画そのものの見直しの中で、よりよい調査検討の仕方ということについては改めてご検討いただき、調査内容や方法、また市長が進めておられるタウンミーティング等の情報、この辺りも、しっかりと整理をし、審議にインプットしていただきたい。

今後の検討事項や事務局と当審議会で相談しながら進めていくべきところは複数あったが、本日は今後の進め方ということで、いただいた留意点を踏まえて次回以降の審議を進めていきたい。各委員、そういう方針でよろしいか。

【各委員】

(異議なし)

【会長】

今後の審議内容とスケジュールについては、今後もちろん、変更されていくところはあるかと思うが、今日の段階では、今後の方針を検討したということで収めさせていただきたい。

以上

■次回審議会の予定

令和8年1月中旬ころ (日時詳細については、事務局で調整)